

新生児科の紹介

contents

- ・がんセンター局紹介
- ・新生児科の紹介
- ・地域連携研修会の報告

センター 紹介

がんセンター局紹介



がんセンター
局長

中込 博

山梨県には“がんセンター”といったがん診療に特化した病院はありません。

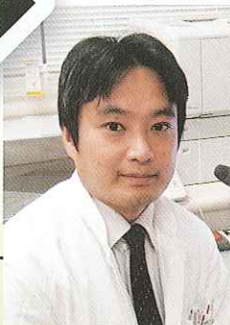
本年4月、都道府県がん診療連携拠点病院としての山梨県立中央病院が“がんセンター”に負けないがん診療を県民に提供できる病院になることを使命にがんセンター局が設置されました。がんセンター統括部長：宮下義啓（呼吸器内科）緩和ケアセンター長：保坂恭子（泌尿器科）その他がん診療の向上を使命に頑張っているスタッフとともに当院のがんセンター機能を全国に誇れるものになりたいと考えています。

高齢化社会を迎え、高血圧や糖尿病などさまざまな基礎疾患を持つがん患者さんが多くなっています。当院のような総合病院が、がんセンター機能をもつことは、患者さんの容体に合わせたがん診療を提供できるメリットががんだけを診る“がんセンター”よりもあるものと自負しています。

がんセンター局はがん診療を担うすべての診療科と緩和ケア・推進室（緩和ケアセンター）、放射線治療、通院加療がんセンター（ATCC）、ゲノム解析センター（GAC）、がん相談支援センター、癌登録室などから構成され、がんセンター機能を推進しています。

今年度の動きとしては、放射線治療において新たな高精度照射の機械を導入するための工事が進んでいます。また、呼吸器外科に後藤太一郎先生が赴任され、肺外科のますますの発展に意欲を燃やしています。いずれも肺がんの治療成績の向上につながる変化です。秋に開催する県民のための公開シンポジウムでは肺がんにスポットを当てて皆さんに難治性がんの代表格である肺がんの治療戦略をお話する予定です。

着任の 挨拶



肺外科
肺外科医長

後藤太一郎

今年度より、肺外科医長に着任しました後藤太一郎と申します。幸いながら、前任地の慶應義塾大学病院では難解な手術や肺移植医療にも携わることができました。今回、多くの方のご支援により当院に赴任致しましたが、今までの経験を活かし、山梨の肺外科診療に貢献したいと考えております。肺外科と言いましても、肺癌・転移性肺腫瘍や気胸・膿胸のみならず、縦隔腫瘍、気管腫瘍、胸壁腫瘍、気道狭窄（ステント治療）、非定型抗酸菌症など多彩な疾患を対象としております。当科では、間質性肺炎生検（胸腔鏡下生検）や縦隔リンパ節生検（EBUS、胸腔鏡検査）も積極的に施行しております。ご紹介いただいた患者さんは、待機時間を最短とし、早期に手術できるよう心がけて参ります。今後とも貴院よりご紹介の労をお取りいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1
TEL.055-253-7111/FAX.(直通)055-253-2903

Topics 新生児科 の紹介

赤ちゃんのご家族の 明るい笑顔を守るために

Introduction of the department of a newborn infant

当センターは開設12年を経過し、入院した赤ちゃんも昨年2000人を超えました。現在、NICU12床、GCU24床の計36床に対して常勤医7人と専修医2人の計9人で診療にあたり、県内の1500g未満の児のほぼ全例を管理できるようになりました。院外出生児の往診搬送は年間60人程度あり、ドクヘリ導入によりの県内全ての周産期施設に往診搬送が可能となりました。センター専属の臨床心理士による発達検査も軌道にのり、昨年は新たに退院支援コーディネーターが仲間に加わりました。また、当センターから卒業した子供たちは県内外の多くの皆様の温かい手に支えられて頑張っています。我々は急性期の医療だけでなく退院して頑張っている児や長期の入院加療をしている児に対しても広く・深く・長く見守ることのできるチームでありたいと考えています。

医療環境がどんなに変わっても、私達が目指すのは赤ちゃんのご家族の明るい笑顔を守ることです。今後も皆様の御指導を承りつつ、山梨県の周産期医療をより良くしていくためにスタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



NICU (Neonatal Intensive Care Unit)



GCU (Growing Care Unit)

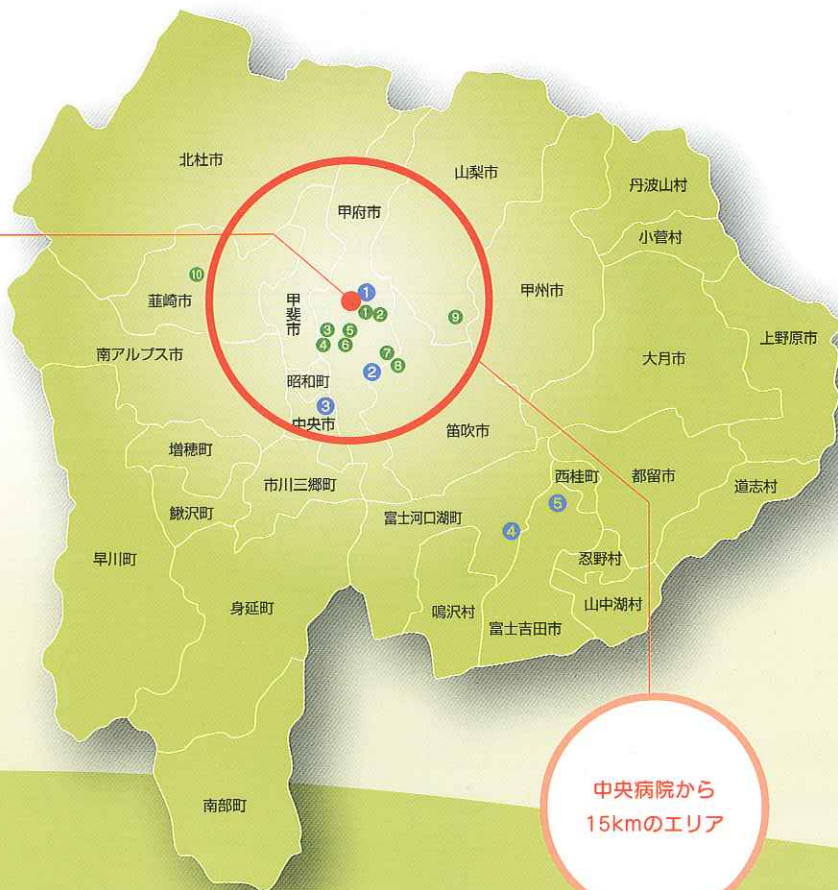
CHECK
1

周産期医療 施設分布

山梨県立中央病院

- ① 国立病院機構甲府病院
- ② 市立甲府病院
- ③ 山梨大学附属病院
- ④ 山梨赤十字病院
- ⑤ 富士吉田市立病院

- ① 甲府共立病院
- ② 依田産婦人科クリニック
- ③ 梶山クリニック
- ④ 田辺産婦人科
- ⑤ 長田産婦人科クリニック
- ⑥ 跡部医院
- ⑦ 清水クリニック
- ⑧ 長坂クリニック
- ⑨ 中村産婦人科
- ⑩ 韮崎助産院



中央病院から
15kmのエリア



NICU入院児退院支援コーディネーターは昨年度より当院に配置されました。NICU、GCUに入院している児について、その状態に応じた望ましい療育、療養環境への円滑な移行を図るため、個々の家族のニーズに合わせた支援プログラムの作成、並びに医療的、福祉的調整及び支援を行っています。

急性期を乗り越えた赤ちゃんが無事退院の日を迎えるということは、家族の大きな喜びであると同時に心配と不安を抱えた生活のスタートにもなります。その不安のひとつひとつを家族とともに解消していく手助けができればと思います。

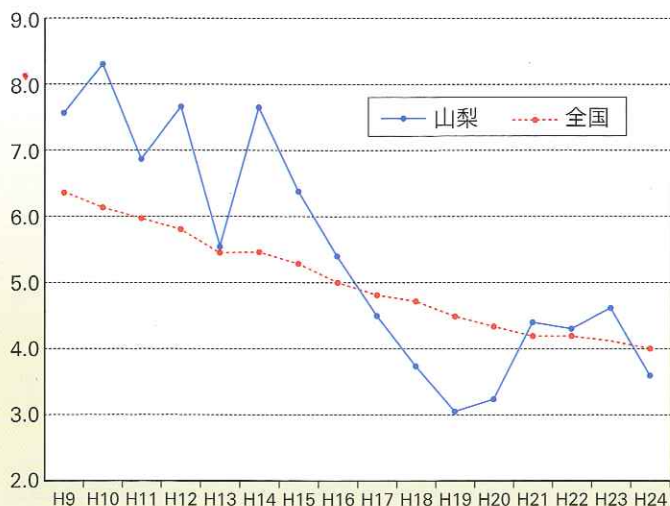
CHECK
2

山梨県の 周産期医療

禁煙の周産期医療成績の向上はめざましく、平成24年では、
新生児死亡率0.6（全国3位）、周産期死亡率3.6（全国9位）。

周産期死亡率

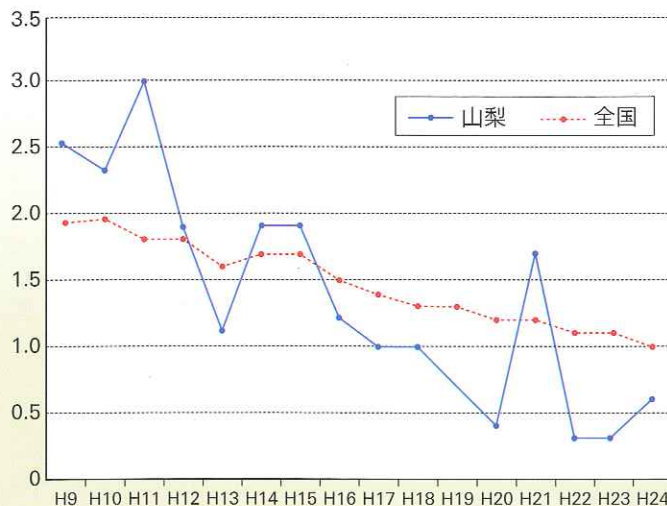
（妊娠満22週以後死産数+出生数1000対）



ちなみに、平成9年では、新生児死亡率2.5(全国39位)・周産期死亡率7.6(全国44位)

新生児死亡率

（出生1000対）



新生児死亡率は平成21年に1.7(全国41位)と悪化したが一昨年は0.3(全国1位)と回復

地域連携研修会が開催されました

地域連携
研修会

H26年度 第1回

2014.5.21

平成26年5月21日(水)、当院多目的ホールにおいて、今年度第1回目の地域連携研修会が開催されました。

山梨県健康増進課 課長堀岡伸彦氏より、「今後の社会保障政策の方向性～病診連携のありかたについて～」講演いただきました。院外より51名の医師、看護師など多くの方々にご参加いただき、院内からは23名の職員が参加いたしました。

国際比較を中心とした日本の医療費をめぐる状況や今後の方向性、医療機能の分化をめぐる法制度や診療報酬制度について県内の状況もふまえた講演内容で、講演後も多くの方々からご意見・ご質問をいただき、ご参加いただいた多くの方々から非常に良かったとご好評をいただきました。

当地域連携センターでは院内・院外に向けた連携のための研修会を今後も定期的に行わせていただきたいと思います。その都度ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。



次回研修会

H26年度 第2回

日時：H26年 8月28日(木) / 19:30～20:30

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール
甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

題名：『消化管腫瘍・内視鏡的粘膜下層剥離術の現状と地域連携について』

講師：山梨県立中央病院 地域連携センター統括部長
消化器内科 小嶋裕一郎

共催：第一三共株式会社

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00～17:00 月～金(祝祭日除く)

①紹介状②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内
にお越しください

お持ちいただく物

- ①紹介状 ②電話診療予約申込書
- ③保険証 ④当院の診察券
- ⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)